

井上文男さんの「腰痛がなくなりました」と「聖杯」

2020年5月2日

太田隆次

私達80代後半の世代は、大なり小なり誰でも腰痛や足の痛みに悩まされています。私もその一人です。

「検査など色々やってみましたが、原因が掴めない」といわれて諦めている方も多いのではありませんか？

その証拠に、コラーゲン、腰痛専門薬、入浴剤、サプリメント、ウォーキング、運動、ヨガ、器具、整体師やジム通いなどなど、人づてあるいはCMに釣られて、多くの方が悪戦苦闘しているようです。「これが効きました」とCMのモデルはにっこりと笑っているのですが。

ところで井上文男さんは不幸な交通事故の治療中に、長年の腰痛が突然なくなったそうです。

勝手な想像ですが、恐らくこれは医療の現在の技術を超えたあるものが、治療のさなかに作用して腰痛に効いたのでしょう。

どこかに何かいい薬がある筈なのに見つからない。(薬の世界)

どこかに何かいい解決法がある筈なのに見つからない。(ビジネスコンサルタントの世界) などなど、「効く何かがある筈なのに見つからない」ことのドラマの一つが、これから紹介する「聖杯」(Holy Grail)です。

聖杯とは、旧約聖書により伝承されている聖遺物の一つで、「最後の晩餐」の時に使用された後、ゴルゴダの丘でキリストがロンギヌスの槍で突かれた時に流れた血を受けとめたとされる杯のことです。以後この杯に注がれる飲み物を飲み干すと、誰でも立ちどころに傷や病が治り長き命と若さを授けられると伝えられてきました。

病気だけでなくあらゆる願いごとがかなうというこの聖杯は、権力者や騎士団などが何百年も探し続けそれが物語になり「聖杯伝説」と称されるようになりました。

しかし21世紀の現在に至るも見つかっていません。

・20世紀に入ると、世界制覇を狙ったヒトラーのナチスの戦車隊もフランスで捜索しましたが見つかりませんでした。

・映画「インディ・ジョーンズ」はハリソン・フォード演ずる考古学者が「聖杯」を捜索するドラマです。

・現代の欧米ビジネスの世界で「このテーマの解は聖杯 (Holy Grail) だ」というと、「素晴らしいテーマだが解は見つからないだろう」という意味です。私もはじめは意味が分かりませんでした。

折しも世界をあげて新型コロナウイルス根絶の「聖杯」を地球規模で探しているさなかです。

日本でも昔から、なでるだけでどんな難病も治す「賓頭盧損邪」(びんずるそんじゃ)がいます。

賓頭盧尊者 (びんずるそんじゃ) とは？

釈迦仏の弟子。十六羅漢の一人。神通力をもてあそんだとして釈尊に叱責され涅槃(ねはん)を許されず、釈迦の入滅後も衆生(しゅじょう)の救済にあたった。日本では堂の前に置き、これを撫でると除病の功德があるという俗信が広まりました。皆さんも、どこかで見たり、なでたことがあるのではないのでしょうか。

